講座「まなびはく」

前衛美術の／と女性作家たち

入場無料

光田由里（多摩美術大学大学院教授、アートアーカイヴセンター所長）

2026年12月12日［土］14:00-15:30

芦屋市立美術博物館 講義室　定員80名 ＊申込不要

数多くの女性アーティストが様々に活躍する現代の状況は、先人たちの努力の成果かもしれません。1950年代から80年代までを振り返るなら、前衛美術をめざすとき、女性たちは壁や障害を経験せずにはいられませんでした。美術を学ぶ場所でも、作家活動で団体やグループに加わればそこでも、生活の場はもちろん、評価されるならなおさら、女流という枠内に閉じ込められてしまう。それでもなお生み出されてきた素晴らしい作品を紹介しながら、その背景と作者について考えることを試みます。

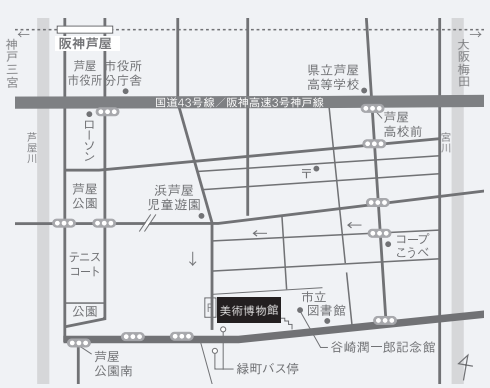
講師プロフィール

兵庫県出身。京都大学文学部卒業後、富山県立近代美術館、渋谷区立松濤美術館、DIC川村記念美術館に学芸員として勤務。20世紀美術史および写真史。主な編著書に『木下佳通代：没後30年』（赤々社、2024）、『History of Japanese art after1945: institutions, discourse, practice』（Leuven University Press, 2023）、『美術批評集成：一九五五 ― 一九六四』（藝華社, 2021）、『Tokyo, 1955-1970: a new avant-garde』（Museum of Moder Art, 2021）、『美術の日本近現代史制度言説造型』（東京美術、2014）、単著に『高松次郎、言葉ともの』（水声社, 2011）、『写具、「芸術」との界面に：写真一九一〇年代 ― 七〇年代』（水声社, 2006）など。主な担当展覧会に「描く、そして現れる画家が彫刻を作るとき」（2019）、「鏡と穴ー彫刻と写真の界面」（2017）、「ハイレッド・センター：「直接行動」の軌跡」（2013）、「中西夏之新作展絵画の鎖・光の森」（2008）ほか多数。

桂ゆき
芥川紗織
小野洋子
久保田成子
合田佐和子

2026年ー2027年　展覧会情報

浮世絵の風景画を楽しむ 広重＋北斎　2026年10月22日（木）ー2027年1月17日（日）
再考：具体／絵画　2027年3月9日（火）ー6月13日（日）　＊予定



芦屋市立美術博物館
〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25
ashiya-museum.jp

◎アクセス情報
徒歩 | 阪神芦屋駅から南東へ約15分
バス | 阪神芦屋駅・JR芦屋駅・阪急芦屋川駅から阪急バス乗車、「緑町」停留所下車徒歩3分
阪神芦屋駅①のりば（南向き）　系統1「新浜町」行き
JR芦屋駅南口のりば　系統8「芦屋浜営業所前」行き／北側⑤のりば系統1「新浜町」行き
阪急芦屋川駅①のりば　系統1「新浜町」行き
※併設駐車場1時間無料